



【ご参考資料】

2012年4月4日

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社

Freescale OGT! Racing 90号車が、 ポルシェ カレラカップ ジャパン 2012 開幕優勝と最速ラップ！

～ 初戦から、最高のチームワークで勝利 ～

フリースケール・セミコンダクタ・ジャパン株式会社(本社:東京都目黒区下目黒 1-8-1、代表取締役社長:デビッド M. ユーゼ、以下 フリースケール)がスポンサーする OGT! Racing が、3月31日(土)に岡山国際サーキットにおいて行われた「ポルシェ カレラカップ ジャパン 2012(以下、PCCJ)」の第1戦において開幕優勝したことをお知らせします。

フリースケールの代表取締役社長デビッド M. ユーゼは次のように述べています。「Freescale OGT! Racing が、国内で開催された PCCJ 開幕戦で優勝できたことに、非常に感謝しています。フリースケールが、このレース活動を通じて開発を進めているテクノロジー開発にとっても最高の滑り出しとなりました。」

OGT! Racing(90号車、ドライバー:イゴール・スシュコ)は、フリースケールが、レース活動を通じて開発を進めている新しいテクノロジーを実装するチームで、本年度より PCCJ に参戦しています。



【岡山国際サーキットを疾走する OGT!Racing カー】



レースの概要:

レース当日は、午前中降った雨の影響が残る滑りやすい路面コンディションで、タイヤ選択が悩ましい状況でした。PCCJ は、各車に改造は許されず競技車両自体はイコール・コンディションでのレースとなるため、こうした状況下でのタイヤ選択は、重要な判断を必要とします。

その中で、OGT! Racing のイゴールが、真っ先にドライタイヤを選択し、コース・グリッド上での交換を決断！ それに影響されて他チームの中からもドライタイヤに変更する動きが現れた。レース開始後は、路面は濡れた状態だったが、ドライタイヤへの選択は正しく徐々にラップタイムが伸びました。ウエットタイヤを装着した先行する 1 台とドライタイヤを装着した 1 台と OGT! Racing の 3 台でのトップ争いの中、まず先行するドライタイヤ装着車が、次に OGT! Racing が、先行するウエットタイヤ装着車を追い抜き、その後は 2 台での熾烈なトップ争いが続きました。

10 週目、周回遅れの絡んだ混乱した状況の中、わずかなチャンスを活かし、もう 1 台をかわした OGT! Racing は、その後もリードを広げ、スポンサー、フリースケールの取引先や社員を含む関係者の応援に応え、見事開幕優勝を果たすことができました。

更に、イゴールはこの日のレースで最速ラップも記録しておりドライバーの実力の高さも証明しました。

「OGT! Racing」に関する情報、写真やビデオ: <http://OGT.co.jp>

■第1戦:3月31日(土) <岡山国際サーキット:3.703km> スタート時間:13:34:01

周回:15周、所要時間:24'48.656、平均時速:134.324km、最速ラップ:1'36.401

OGT! Racing ドライバーのイゴール・スシュコは次のように述べています。「今回の優勝は、今期のレース全体の結果を占う上で重要な意味を持ち、これからのレースを有利に進めていくための原動力となりました。我々のチームは、全員が共通の大きな目標に向けて堅い絆で結ばれています。また、今回の輝かしい戦果は、フリースケール・ジャパン及び関係するパートナーの持つ大きな可能性とチーム・ワークの賜物です。チーム名となっている One Great Team!(OGT!)をまさに具現化したものです。」

尚、イゴールのプロファイルは次ページをご参照下さい。



(左より)
 イゴール・スシュコ
 株式会社豊通エレクトロニクス 代表取締役社長 青木 厚氏
 (OGT! Racing スポンサー・技術パートナー)
 フリースケール 代表取締役社長 ディビッド M. ユーゼ

フリースケールは、こうしたエキサイティングなレースが展開される、OGT! Racing の競技車両に新しいテクノロジーを搭載し、厳しいレース環境下での開発を進めています。

第 1 戦の岡山では、今年の PCCJ レース全体を通じて開発する複数のアプリケーション・データを高速で移動する車両からパドックに 3G/LTE ネットワークを通じて転送するための基本技術の確認テストを



行いました。特に今回は、3G ネットワークを使ってビデオ・ストリーミングにも成功し、今後のアプリケーション開発にともなう、データ転送の課題を解決することができました。

フリースケールでは、今後もこれらアプリケーションの開発推移を随時 PCCJ の結果とも交えて報告してまいります。

フリースケール・セミコンダクタについて

フリースケール・セミコンダクタ(NYSE:FSL)は、先進の自動車、民生、産業、およびネットワーク市場において、業界を牽引する製品を提供する組込みプロセッシング・ソリューションの世界的リーダーです。マイクロプロセッサ、およびマイクロコントローラ、センサ、アナログ製品やコネクティビティといった私たちの技術は、世界中の環境、安全、健康を向上させ、そしてそれらをよりつなげるイノベーションの基盤となります。また、オートモーティブ・セーフティ、ハイブリッドや電気自動車、次世代のワイヤレス・インフラストラクチャ、スマートエナジー、ポータブル医療機器、家電やスマート・モバイル製品といったアプリケーション向けの製品を提供しています。フリースケールは、テキサス州オースチンを本拠地に、世界各国で半導体のデザイン、研究開発、製造ならびに営業活動を行っています。詳細は、<http://www.freescale.co.jp/>をご覧ください。



ドライバー・プロフィール



- ドライバー: イゴール・スシュコ (IGOR SUSHKO)
- 生年月日: 1986年1月10日
- 身長/体重: 180cm/75kg
- ロシア語、日本語、英語に堪能
- プロ・レーサー経験: 5期
- 19才で参加した初の週末レースで3勝。スキップ・バーバー・フォーミュラー・ダッジ・シリーズ。
- ルノーのフォーミュラーカーを使用した権威あるフォーミュラー・チャレンジ・ジャパンのレーサー育成シリーズで唯一の外国人レーサーに選出される。
- 日産チームで24時間耐久レースに参戦。
- 初のジム・ラッセル・ローラ F3 シリーズでポール・ポジションを獲得。
- 2010年、Super GT GT300 鈴鹿 700km でポール・ポジションを獲得。

報道関係者からのお問い合わせ先: コーポレート・コミュニケーション部 若松浩一
Tel: 03-5437-9128
Email: koichi.wakamatsu@freescale.com

広報代行(共同 PR) 井口、國時
Tel: 03-3571-5258
Email: maki.kunitoki@kyodo-pr.co.jp

Freescale ならびに Freescale のロゴマークは、米国、またはその他の国におけるフリースケール社の商標、または登録商標です。文中に記載されている他社の製品名、サービス名等はそれぞれ各社の商標です。

©2012 フリースケール・セミコンダクタ・インク